



## ほほえみ 第55号

今年、5月が晴れた日が多くて、梅雨も来るのかなあといったところでした。朝方には肌寒くても、急に気温が高くなる日も多く、何を着て過ごせばよいのか迷いますね。6月には、流石に雨もまとまって降るのかとも思いますが、毎日、空模様を見ながらクールビズにすべきか悩んでいます。

### 米国癌学会 2015

米国癌学会は、例年5月末に行われています。今回は、ニュースレターを書く時間がとれずに、6月にずれ込んでしまいましたので、逆に、つい先日行われた米国癌学会の話題としたいと思います。

米国癌学会は、医学関係の学会の中でも大規模なもので、米国でも飛行機の便の良いシカゴでしか行われなくなってきています。今年の会期は5月29日から6月2日でした。米国癌学会の話題といっても、シカゴに出かけていないじゃないのと思われるかもしれませんね。実は、米国癌学会は正会員に、学会期間中に前日発表された内容のハイライトを電子メールで配信するサービスがあり、さらに、発表の様子を映像でも配信しているものもあって、日本にいても、限りなくオンタイムに近い状況になっています。

現時点で、話題になっている内容としては、分子標的薬に関する臨床試験の報告が主なものとなっています。2つ程度、注目された分子標的薬をご紹介します。

第一は、Pembrolizumab ペンブロリズマブという分子標的薬です。この薬剤はPD-1阻害剤と言われるもので、腫瘍免疫応答の阻害を解除するという働きがあります。どういう意味かということ、元々、がん細胞には、人体の免疫の攻撃をまぬがれる仕組みがあるのです。免疫を上げれば、がん細胞を攻撃するかということ、そう単純ではなくて、がん細胞は攻撃されないのです。そこで、がん細胞が攻撃をまぬがられないように、PD-1というものを働かなくすると、がん細胞も免疫系の攻撃を受けてダメージを受けるようになるという訳です。

ペンブロリズマブは、胃癌で有効ではないかと言われていましたが、今回、大腸癌の中で、ミスマッチ修復系に異常がある癌の場合には有効ではないかという報告もされていました。

第二は、以前にもお知らせしたニボルマブの話題で、この薬剤もPD-1阻害剤ですね。ニボルマブは、悪性黒色腫に対して有効とされているイピリムマブより効果が上回り、

ニボルマブ+イピリムマブ > ニボルマブ > イピリムマブ

の順で効果が良くなるというものです。日本では、イピリムマブの承認が遅れており、必ずしもこの通りに治療ができる訳ではありませんが、従来、悪性黒色腫は薬物療法が難しいとされてきたので、明るい話題といえます。

分子標的薬においては、同じ臓器から出現しても、効果が得られるタイプの癌と、得られないタイプの癌があるということで、薬剤の開発もさることながら、向いているタイプかどうかを診断する技術の開発が求められていると言えます。これ以外にも、膀胱癌でのヒアルロン酸を標的にした治療開発の話題や、大腸癌に対するビタミンDに関する話題など、興味深い話題が、数多く報告されていました。



## 福田耕二先生の異動

2010年8月から、当科に赴任されていた福田耕二先生ですが、来月から秋田大学大学院医学研究科に異動となります。福田先生には5年弱、当科の常勤医として、数多くの患者さんの担当をしていただきましたが、大学院で本格的な研究生生活を送られるということで、先生のご実家もある秋田に移られることとなりました。福田先生の今後の、益々のご活躍を願っております。

後任には、秋田大学臨床腫瘍学講座より、井上正広先生が赴任されます。福田先生が担当されていた方は、担当医の変更となりますが、以上のような次第ですので、何卒、ご了解いただき、今後ともよろしく願い申し上げます。



福田家の「もふもふちゃん」

## 世界ばら会議 2015

一面で米国癌学会の話題を取りあげましたので、趣向を変えて、世界ばら会議に関する記事にしたいと思います。世界ばら会議は3年に一度ぐらい行われているのですが、今年は開催年に当たり、5月27日から6月1日まで、フランスのリヨンで開催されました。

世界のばらに携わる園芸家が集まる会ですが、世界ばら会議と言えば、投票で世界殿堂入りのばらが決まるので有名です。殿堂入りのバラは、世界的に評価が定まった銘花の称号ですが、専門家しか育てられない気難しいバラではなく、誰もが頑張れば育てられるバラでもあると言われています。ピエール・ド・ロンサールは、たまに盛岡でも見かけますね。

バラの花色を決める遺伝子は、赤、白、黄色の三種が主なので、この三種の他にはこれらの中間色、ピンク、橙色、アプリコットなどがあります。完全に青いバラはありませんが、紫色のバラは作出されています。紫があるということは、赤+青ということですね。

今回の殿堂入りのバラを知りたくて、インターネットで検索していますが、まだサイトには出ていないようです。世界殿堂入りのバラ、是非、育ててみたいですね。



2006年殿堂入り  
ピエール ド ロンサール

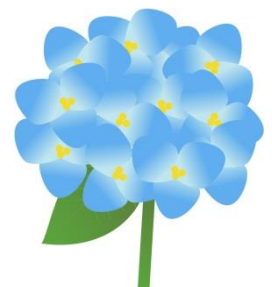


2012年殿堂入り  
サリーホームズ

## MEMO

### 6月のがん化学療法科の予定

6月12日	柴田教授外来
6月19日	新渡戸稲造記念メディカル・カフェ（予定）
6月21日	父の日
6月26日	柴田教授外来



欧州の6月はバラ  
ですが、日本の6月は  
アジサイですね